

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		観光協会運営支援事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	040303000547
		総合計画の施策名				単独/補助	単独	所属課	050301
		0403 観光の振興						課長名	商工観光課
		政策名						グループ	商工観光グループ
		04 活力ある産業のまちづくり						担当者名	
		施策名							
		03 観光の振興							
		03 ③観光まちづくりの実践							
		手段名							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	07	01	04	01	00	観光事業		
法令根拠						桜川市補助金等交付規則			
						単年度繰返し (平成17年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>桜川市の魅力を市内外のより多くの方々知ってもらうために行う観光協会運営支援事業である。</p> <p>現在会員数は187名。会費は2,000円。</p> <p>観光協会会員が企画するイベントのサポートをする。</p> <p>観光客増をはかるため、観光協会ホームページによりイベント情報、観光情報、会員情報を発信していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会会員が計画した事業の運営支援。 パンフレットの作成やホームページの運営等の広告宣伝。 会議通知、資料の作成。 事業検討会議の実施。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
観光協会会員が実施する事業のサポート。 観光協会内部の事業の精査。 観光協会ホームページによりイベント情報、観光情報、会員情報を発信していく。 観光協会の会員増強促進。	ホームページ更新日数	日	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	新規事業実施数	個	2.00	2.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
観光協会会員	会員数	人	186.00	187.00	190.00	195.00	200.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
桜川市観光協会の活動を支援することによって、桜川市の魅力を市内外のより多くの方々知ってもらい、会員の観光に対する意欲を促す。	ホームページ閲覧数	人	716,798.00	844,434.00	850,000.00	850,000.00	850,000.00
	観光客数 (市内全域)		341,849.00	180,669.00	200,000.00	200,000.00	200,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	01年度 (実績)	02年度 (実績)	03年度 (計画)	期間限定総投入量
入量	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	6,000	5,176	6,000	0
	事業費計 (A)	6,000	5,176	6,000	0
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)	03年度事業費 予算 (千円)
18 負担金補助及び交付金	5,176	6,000
合計	5,176	6,000

事務事業名	観光協会運営支援事業	事務事業No.	40303000547	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ H17年の合併に伴い桜川市観光協会が設立され、桜川市観光事業の発展のために開始された。 H25.5.31日に観光協会真壁支部、岩瀬支部を廃止し、観光協会が一本化され会員制と会費制を導入した。 H26.7.1日に観光協会独自のホームページを立ち上げた。 H28.6.1日に桜まつりと納涼大会が観光協会から独立した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 観光資源への受け入れ態勢の整備が求められている。また物産面の強化もはかってほしいと言われている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市の観光発展を促進させるためには不可欠であり、市の政策体系と結びついている。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の観光発展のため、妥当である。
	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 様々な性質の事業が混在しているため、観光協会内部で1事業ごとに方向性を考察する必要がある。1事業ごとに成果が向上できるため、全体としても向上の余地がある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 観光客の対応が困難になり、市の観光促進に大きな影響がでる。
有効性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 市の観光宣伝や、環境整備の点ですでに多くの事業と連携している。
	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 多くの事業を抱えており、自己資金のみで運営できない事業があり、削減は出来ない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 観光協会内部で事業検討会議を行い公正・公平になるように尽力している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒ ホームページ閲覧数については増加したが、観光客数は減少という結果だった。桜川市に興味をもつ人が増えていることから、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな事業を展開し、観光客数増加につなげるよう、会員のまちづくりに対する意欲を高めていく必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 各事業の独立を目標として助成金を支出しているが、助成金がないと運営できない事業もいくつか存在する。独立した運営を目指すためにも、駐車料金を徴収するなど利益をあげる仕組みを創作する必要がある。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持																							
	低下																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>